

大学教育の質的転換における 授業時間外学習の促進

山田 剛史 / Tsuyoshi YAMADA, Ph.D.
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
副室長・准教授

E-mail: yamada@ehime-u.ac.jp
Website:

なぜ、授業時間外学習なのか？

➤ 単位制度の実質化

授業の受講 90分 × 15回 + 試験 → 2単位

学修の3点セット

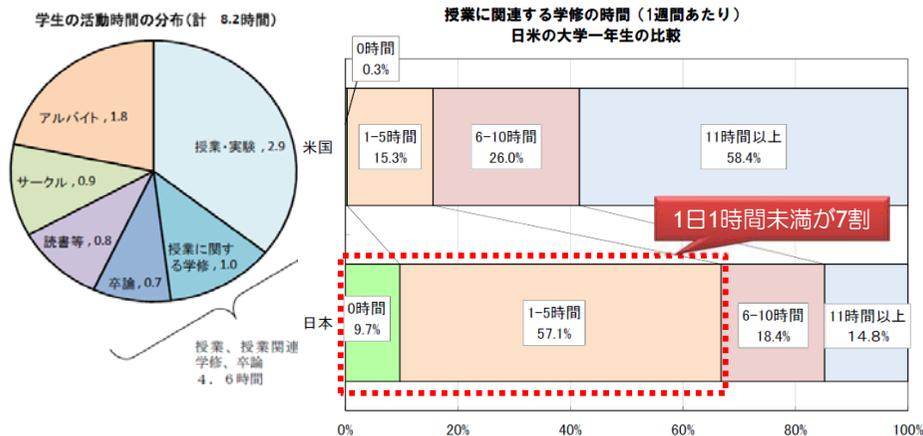
事前の準備 90分

授業の受講 90分 × 15回 + 試験 → 2単位

事後の展開 90分

なぜ、授業時間外学習なのか？

➤ 勉強しない日本の大学生



なぜ、授業外で勉強しないのか？



◎学習観/習慣

覚える
覚える
覚える
回答する

◎教授主義

教える
教える
教える
覚えさせる

◎過密なカリキュラム

詰め込む
詰め込む
間を与えない

どうやって、授業時間外学習を促進するか？

北風タイプ（≒外発的動機づけ）

- ①課題に対して報酬を与える
- ②課題を成績評価対象とする
- ③次回の授業で学生に回答させる
- ④課題をやらない学生を退出させる

太陽タイプ（≒内発的動機づけ）

- ①知的好奇心を喚起させる
- ②関連づける
- ③必要性を感じてもらおう
- ④自分事化させる
- ⑤選択の自由度を与える



5

どうやって、授業時間外学習を促進するか？

● 反転授業/反転学習 (Flipped Classroom)

「説明型の講義など基本的な学習を宿題として授業前に行い、個別指導やプロジェクト学習など知識の定着や応用力の育成に必要な学習を授業中に行う教育方法」



6

どうやって、授業時間外学習を促進するか？

- MOOC (Massive Open Online Course)
大規模公開オンライン講座(無料)



- JMOOCも始動 (3つのプラットフォーム)



1. 講義動画・ディスカッション



2. 選択式テスト・レポート



3. 最終テスト・最終レポート



4. 修了証の発行

7

有意義なディスカッション
になれば幸いです。



ご清聴、ありがとうございました。

8